



設定

• [設定](#) (1 ページ)

設定

Cisco Spaces へオンボーディング

この手順は、アカウントに対して1回だけ実行する必要があります。Cisco Spaces アプリケーションごとに繰り返さないでください。手順がすでに完了している場合は無視してください。

手順

-
- ステップ 1 Cisco Spaces でのアカウントをリクエストするには、Cisco Spaces ダッシュボードでのデモまたはライブアカウント作成のリクエストを、spaces@cisco.com に電子メールで送信します。詳細については、「[Getting Started with Spaces Dashboard](#)」を参照してください。
 - ステップ 2 Cisco Spaces からの招待を承諾し、パスワードを設定します。
 - ステップ 3 Cisco Spaces でワイヤレスネットワークをオンボーディングします。『[Setup Guide](#)』を参照してください。
 - ステップ 4 ロケーション階層を設定します。「[Best Practices](#)」を参照してください。
-

資産ロケータ と Cisco Spaces 間の接続の設定

詳細については、『[Cisco Spaces: Connector Configuration Guide](#)』を参照してください。

資産ロケータ と Cisco CMX（リリース 10.6 以降）間の接続の設定

資産ロケータ と Cisco CMX（リリース 10.6 以降）間の接続を設定するために、資産ロケータでの設定は必要ありません。「[Cisco CMX 10.6 以降の設定](#)」の手順に従うことができます。



(注) **dnaspaces-stream** チャンネルを使用して、Cisco CMX から 資産ロケータ へのデータフローを追跡できます。

資産ロケータ と Cisco CMX（リリース 10.6 より前）間の接続の設定

資産ロケータ と Cisco CMX（リリース 10.6 より前）間の接続を設定するために、資産ロケータ での設定は必要ありません。

手順

ステップ 1 Cisco PI から Cisco CMX へのマップのインポート

付録の「Cisco PI から Cisco CMX へのマップのインポート」セクションを参照してください。

ステップ 2 Cisco CMX を Cisco Spaces に接続します。

付録の「Cisco Spaces からトークンを取得する方法」セクションを参照してください。

ステップ 3 Cisco CMX での通知を設定します。

付録の「Cisco CMX 10.5 以前での通知の設定」セクションを参照してください。

資産ロケータ と Cisco Spaces : Detect and Locate 間の接続の設定

資産ロケータ と Cisco Spaces : Detect and Locate 間の接続を設定するために、資産ロケータ での設定は必要ありません。顧客のオンボーディングまたはアセットのプロビジョニング中に、システムによって dnaspaces-stream が自動プロビジョニングされるからです

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。